

よりそう

Side by Side



第28号

編集責任：筒井

編集担当者

筒井・へこ・富田・村井・岩田

岡田監督(元サッカー日本代表) 来訪!



(文責：岩田克己)

朝の時に「まごころネット」を訪れ、地元の子供達にサッカーを指導し、楽しい時間を過ごした。TVでは見せない、にこやかな表情に子供達の目は輝き、心から楽しんでいて様子だった。子供達の笑顔で、大人も笑顔になり、皆が居るグラウンドからは絶え間なく笑い声が聞こえてきた。2時間という短い時間だったが、皆にとって一生の宝物となっただろう。



日本中へ心から
応援の気持ち
願晴れ!!
(と)武史

メンバーにもお世話になりました!!

若者に見る復興の力ー吉里吉里を訪れて

5月28日(土)、現在約100名の被災者が避難生活を送る吉里吉里体育館を訪れた。吉里吉里地区も津波の甚大な被害を受けた地域の一つ。被災された芳賀正彦さん(63歳)に話を聞いた。「自分の家に住めるのか、いつかは戻れるのか、今何ができない。芳賀さんによれば、国内外からの援助の手は行き届いているという。しかし被災者の存在に比べて一番の不安は「その後」だ。以前のようにこの地で収入を得て生活を営むことが出来るだろうか。▶希望もある。吉里吉里には震災孤児がない。若い世代が中心にこの町を復興していく。「津波が来て全てを失った。懸命に生きていく爺ちゃん、婆ちゃん、若者が来た。」芳賀さんは語る。「都会に出て働くことが出来た。若者達も、ここに残って来た。仕事が無くて吉里吉里の地で生きて皆を支えた。」「大震災は地元を離れた若者の価値観をも変えた。彼らがここからの復興の原動力になる。そして今回の震災津波を後世に語り継ぎ、防災を強化する試金石もある。▶取材の帰り際、8歳の男子が駆け寄り、囁いた。「抱っこして、思はず抱きしめた時の身体の熱りは、ここからの復興へ向けに小さくも強い力を予感させた。この町は必ず復興する。子供達の笑顔が忘れられない。」 (文責：富田 翔)

9人組 コーピングマークマーク!!

皆様、日々御苦勞様です。
タイ南部のクラビ県(ピロ島が有ります)より参りました。井上由佳子と申します。2007年のスマトラ地震の津波時には、ツアーオフィスを管理している事もあり、大使館の窓口が詰まっていたので、日本から個人ボランティアの方々が来られて、暑い中での瓦葺屋根をさせて頂いたり、大変お世話になりました。後々ではありましたが、お返しのため、日本全国、いや海外からも実に多くの皆様との「まごころネット」で出会う事が出来、糸井コーピングマークにもありますように、「心はひとつ」を実感しております。
今回は、足湯隊やサッカーで避難所へ行かせてもらったことが、避難された方達のお声を直接聞ける機会を手に入れたことに感謝しております。中でも、大船渡では「やさしくしてもらう人にやさしくなりたい」、「生きていけるだけ奇跡だ。海陸前高田では「全国からのたくさんの支援のおかげで、うちの避難所の人達は一番笑顔が明るいと思う」となれば、心は楽になる。そして代わりに元気をもらえようなお話を伺う事が出来ました。
勿論、表に出て来られない深い心の傷を負われた方もたくさんいます。だからこそ、今後のボランティアの方々の少くす々の努力の種や重ねによる復興支援をバネに戻してあります。
皆さん、頑張りがきかないように頑張りがいひありがとうございます。 (井上 由佳子)

～お知らせ～・寝る前にアラームOFFは一度確認
・資格・特技のある人、受付までご報告下さい!
・まごころネットのコミュニティがmixi, Facebookで出来ています。活用
・風邪には注意!各自工夫して徹底的な自己管理を! 下さい!

5/30(月)ボランティアミーティングはPM15:30～@体育館
5/30(月)の宿泊:138人、活動:88人

まごころ種 募集

くわしくはHPへ

5/31(火) 天気 曇時々晴

気温 9.5-14℃

降水確率 0.5-20%